



ゲスト **ちきら 千喜良たまき** さん

主な資格など：管理栄養士、調理師、社会福祉主事

市内出身。東京都内での給食管理、高齢者への食事提供、飲食店立ち上げ、食品の商品開発などさまざまな活動を行ってきた。

現在は市内にUターンし、個人事業主としてeat plan代表を務め、フリーランスの管理栄養士として栄養相談や田植えツアーの企画、海外での料理教室開催など幅広い分野で活躍している。

長谷川：今後、市をよりよくするために、何かやろうとしていることはありますか？

市長：すでに始めていることは、スポーツを通じた取り組みや雪のプロジェクトなどです。私たちにあって雪は、厄介なものと思われがちだけど、誇りに変えて取り組んでいきたいと思っています。

星野：先ほど歩きながら物を考えることがあるとおっしゃっていました。市長：例えば、本当に歩きながら考えるわけではないんです。市長になるといろんな場所に出かけます。市長室にじつとしてい

はなく、できるだけ人に会いに行きます。そこでの気づきというのは、市長になる前の人生とは一変しました。人の力によってアイデアが出てくるのがいっぱいあるというか、止まる必要がないなと思っています。

大平：私は学校で大勢の前で話すことが多いのですが、どうしたら人前で話すことに慣れますか？

市長：私はあいさつが苦手です。小学生の時に児童会というのがあって、児童会長として入学式のあいさつをするようになりました。その時、頭が真っ白になって一言も

FMゆきぐに



コーディネーター(司会) **山本 安幸** 局長

インタビュアー **田村 花絵** アナウンサー

話せなくなったことがあるからです。苦手意識を克服するために、初代市長の井口さんにコツを聞いたことがあります。井口さんは、「頭の中に言葉を3つだけ用意すること。人は3つ以上の話は聞かないし、自分も忘れてしまう」と。そこから変わり、原稿を持って話すことがなくなっていくようになってきました。卒業式などの式典は別だけど。

山本：市長が言ったように、頭の中に、重要なキーワードを入れてと

いうのもいいかもしれないですね。

大和中学校 3年 **星野 真** さん



バスケットボール部に所属し、いろいろなポジションを担当していた。進学を希望している。

八海中学校 3年 **大平 詩** さん



長所は、何事にも一生懸命取り組むこと。進学を希望している。